

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月11日

評価対象年度：平成19年度				管理	4-2-2-3
事務事業名 あだち地域農業振興協議会参画事業				部等名	産業建設部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	農政課
	一般	01-060102002	細々目名	係等名	農政係
政策体系	基本目標	4	活力あるふるさとのまちづくり		
	施策	2	農業・林業の振興		
	基本事業名	2	農業生産体制の整備		

事業概要 実施内容	行政とJAが一体となって協議会を構成し、安達管内の農業振興と活性化を図るため、次の事業を展開する。 市場で必要とされている農産物等の調査と、価格調査をするため市場調査を実施する。 地域の農産物等をより多く購入してもらうため、行政・JAのトップが全国にセールスに訪問する。 地域の会場持ち回りにより、農業者を対象とした農業振興大会を開催し、経営改善等資質の向上を図る。 協議会運営費として、負担金を納入する。				
根拠法令等	あだち地域農業振興協議会規約	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業 <input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定(年度～年度)			
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	円	15 工事請負費	円
	7 賃金	円	12 役務費	円	18 備品購入費	円
	8 報償費	円	13 委託料	円	19 負担金補助及び交付金	209,928 円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	209,928 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象(誰を、何を)		安達管内農業者	
手段(事業の具体的な内容、手順等)	→	活動指標名・式(アウトプット) 活動の大きさを表す指標	
市場調査結果を、生きた情報として農業者に伝達する。農業振興大会を開催し、中央の講師を招致することにより、農業の現状を把握すると共に、経営改善に寄与する。トップセールスにより市場を開拓し、農業の活性化に寄与する。		指標(1) 式	指標(2) 式
意図(対象を、どのような状態にしたいのか)	→	成果指標名・式(アウトカム) 意図の達成度を表す指標	
水田、畑作、畜産業の単一あるいは複合経営農家に対し、希望を持った明るい将来を描けるよう、それぞれの振興を図る。		指標(1) 式	指標(2) 式
事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか 農産物の消費拡大と販路の確保が図れる。			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度(実績)	年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込み)	年度(最終目標)
指標	活動指標(1)	千円			300	210	
	活動指標(2)						
	成果指標(1)	回			3	3	
	成果指標(2)	回			1	1	
投入量	事業費	国・県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			210	210
	事業費計(A)	千円			210	210	
	職員数	人			0.1	0.1	
	人件費	千円			8,373	8,373	
人件費計(B)	千円			837	837		
総事業費(A+B)	千円			1,047	1,047		

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

<p>、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか? 野菜はその年の天候により、価格に大きな変動があるが、一般農産物とは区分されてきた水稻についても、毎年下落の幅が大きく農業経営に大きな負担をもたらしている。また、畜産業についてもバイオエネルギーの原材料となることから、飼料の高騰化が畜産農家の負担増となっている。</p>
<p>この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 水稻については、過剰作付による価格の下落を防ぐため、生産調整未達成者に対する指導強化が要望されている。 また、補助金の増額あるいは新設が要望されている。</p>

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
農業者へ生きた情報を伝達することや、市場開拓をすることは大変有効である。	農業者への現場での細かい指導はJAで対応するが、トップセールス等は行政で出向くことで大きな効果がある。	農家が元気になることで、地域の活性化にも繋がるため。
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
地域の特産品と成り得る情報の、効率の良い入手と販路の確立。	市場開拓ができなくなる。	他にはないため。
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
毎年負担金を削減してきているので、これ以上思い切った削減は不可能である。	人件費の予算計上はないため	行政毎の農業者数により分担金を算出しているため。

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	トップセールスは大きな効果が望めるので、訪問先を増やせるよう実施方法の見直しが必要である。農業振興大会は、2～3年ごとに規模を変えることは考えられる。																					
(3) 今後の事業の方向性	(5) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要																						
限られた日程の中で、現状より多くの市場等を効率良く回することで、さらに多くの情報を入手し、次年度の作付へ反映と販路の確保が可能になる。																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																						
旅費の経費負担増による、行政への分担金の増額。																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																					
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																						
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																						